

【 近況報告 】

6月は僕にとって1年で一番忙しい季節。なんと言っても「塩」が最も売れる時期で、梅を漬けるというたくさんの方が、たくさんの注文をしてくださるからです。そして湿気の多いこの頃は、よい塩を作るのが大変な時期でもあって、商品管理に時間と気を最も使います。雨が多いと畑の雑草もワンサカ生えてきて、雑草抜きを怠るとあとが大変なので今がんばらないと...。それと今年の場合は、5月からはじめた養蜂にも随分時間と労力を取られました。慣れない作業でミスも多く、蜂さん達の機嫌が悪くなって顔中刺され、腫れあがったこともありました。最近では忙しさにかまけて「しばらく放っておこう」ということにしていて、こちらの方は、この先どうなることやら本当に分からなくなってきました。がんばりますが...

そしてそして、6月は「田植え」の季節。田植えは「キャンプ」を除けば僕の暮らして最大の難仕事。田植えまでの準備が、とにかく一人での作業で大変です。でも今年は小型の耕運機を中古で購入した甲斐があって、昨年までの10分の1以下の時間と労働ですみました。6月19日(水)に地元保育所の子ども達とワイワイ田植えを行ない、「今年こそは！」と保護者や先生方に念を押されました(昨年一昨年と雀にやられて全滅でしたので)...

そしてさらに、昨年今年とやってみて分かりましたが、夏のキャンプに追われだすのもこの時期のようで、参加者募集のパンフレットを作ったり、スタッフを集めて調整したりで、今はもう大分落ち着きましたが、とにかくテンテコ舞いの忙しさでした。これからは長崎にチラシを置きに行ったり、助成の申請書類を作って提出したり、参加者とのやり取りがあったりと、まだ半分忙しさは続きそうです。

さて、先月に出した前回の通信で「メールマガジンを出す」と言いましたが、なんと現在まで一回も出していません！！前述の忙しさのせいもありますが、実はパソコンの調子がずっと悪く、とうとう島の業者さんに来てもらってメールができるようになったのがつい最近という状況だったのです。せっかく「読みたい」と言ってきてくれたのに、連絡もせずに申し訳ありませんでした。メールマガジン第一回はもうしばらくしてから出す予定ですので、あとほんの少々お待ちください！！

(そうそう、ワールドカップも近所の鳥原さん宅へお邪魔して、テレビで盛り上がりました。

時間がないといっても、これくらいは...ね。)

(近況報告とはまったく関係ありませんが、今回は他にスペースがないので、..

「塩の注文お待ちしております！！」)

【 たびたびすみません。またキャンプのお願い。 】

いつの間にか通信を出すたびに、毎度キャンプのことを言うようになってますね。

たびたび触れていますが、この夏も子ども対象のキャンプを行ないます。昨年度との違いは、文部科学省委嘱事業から、独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター主催の「子どもゆめ基金」助成事業へと変更したこと。 13泊14日から、10泊11日としたこと。 最初から五島に移動して、「島」だけの活動としたこと。 などが挙げられます。 昨年は開催までの準備で大分バタバタしましたが、、今年もバタバタしそうです。

昨年同様、皆さんに参加者募集のご協力をお願いいたします。キャンプのチラシを2部ずつ同封しましたので、もしよろしければ友人・知人の方にお渡しください。特に九州北部地区に知り合いがいる方は、一言宣伝していただければ幸いです。もっと配れる・もっと渡せるという方は、ご連絡いただければすぐに郵送いたします(できればコピーして渡していただけると助かります)。昨年はいろんなお店に掲示していただいたり、図書館や市民プールのようなところに置かせてもらったり、回覧板で回していただいたところもありました。こういうキャンプがあるということをとくさんの方に知っていただくだけでも、意味のある大切なことだと思いますので、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

(スタッフとして関わってくださる方も募集しています。まずはお気軽に声をかけてくださいね。)

以下は助成の申請書類各項目に記した事柄です。長ったらしいし、欲張りすぎかな...?

- ・活動のねらい 感動や驚きの体験から感性や知的好奇心を育て、支えあわなければ満足に食事もできない自然の中での暮らしを通じ、個人が常に社会の一員であることを体験的に学びながら、困難や不便を克服して創造性・想像力、向上心、忍耐力、物を大切にする感謝の心を豊かに養う。またそれらを異年齢の集団で行なうことによって、自主性、自律心、協調性、社会性を自ら築いていく機会とする。
- ・活動内容の概要 国立公園に位置する五島列島の浜辺と森をフィールドとし、自然体験、環境学習、農業・漁業体験、生活体験活動等に取り組む。具体的には、利用施設における自炊とテントでの宿泊、利用施設が実施している自給自足の暮らしを実際に体験・挑戦する。
- ・活動の目的 自然や環境の理解、そして好きになること。青少年の自主性や協調性、生きる力の育成。子ども達が自然の中で思いっきり遊び、のびのびすること。
- ・活動の特色 単なる教育キャンプと違い、原始的・根本的な生活を営み、有機的な直接体験を繰り返し行なうことで、自らが気づいていくきっかけを多く取り入れている。

「晴耕雨読」とは、「自然の中で自然のままに、地球人として生きていきたい」という想いと願いを込めてつけた名前です。「手塩」を買ってくださった方々や、友人・知人に、島での暮らしをお知らせするのが目的です。ご意見をお聞かせください。

連絡先 〒857 - 4601 長崎県南松浦郡新魚目町小串郷大浦

TEL / FAX 0959 - 55 - 2707 kurashi_en@hotmail.com

小野 敬

火のある暮らし

あったかい

「生きた火」に触れていますか？

【 近況報告半年分！ 】

半年ぶりの五島通信。「まだやったのか」という声が聞こえてきそうですが…。まずはいつものように(?)キャンプの報告から。

夏のキャンプの前に、春(3月)のキャンプで作った家ですが、年を越した今もコツコツ建設中です。夏のキャンプまでに屋根までは取り付けなかったのですが、3分の1ほど屋根があるという状態で夏を迎えました。現在は屋根の取り付けを終え、側壁を廃材で打ちつけているところです。ちなみに現在までの材料費は、柱などの木材と屋根のトタン、コンクリ代などで40万円弱。これ以降は中古のサッシを購入するくらいなので、全体で50万円くらいで完成しそう(?)です。

さて…。

8月10日から20日まで、今回は10泊11日で行なわれた「しまキャンプ」。参加人数はちょうど定員の20名が集まりました(島外からのスタッフ15名、島からもたくさんの方が応援してくださいました。そして募集にご協力くださったみなさん、ありがとうございます)。前回からのリピーターが多く参加してくれたのが、なにより嬉しいことでした。キャンプ前日の8月9日に、ヤギの赤ちゃんが2頭生まれる嬉しいハプニングもあって、期間中子ども達にも大人気。みんなで名前を付けました(がホップでがハツキ)。

前回(1回目)のキャンプは、予定表通りに行なおうとし過ぎたために、子どももスタッフも疲れるキャンプだったという反省があり、2回目の夏は「臨機応変」を心がけるようにしてみました。そして前回は少人数だったこともあり、子どもの自主性に任せ、スタッフは手も口もなるべく出さないようにしていましたが、手や口を出さないというのが実は一番疲れる「作業」なので、今回は主に自炊の時に口を挟んでいくようにしました。その甲斐あって自炊の時間が大幅に短縮され(前回は作り始めてから食べるまでに5時間！なんて当たり前でした)、その分自由な活動時間が増え、子ども達もスタッフも元気に遊び回っていたように思います。しかし今回、注意の目が行き届かなかったことからケガをさせ、その子どもにキャンプ後半を不自由な体で過ごさせてしまう事故がありました。海岸に設置されている栈橋の板が老朽化で腐っていたために、乗った拍子に落下して膝などを強く打ったのです。後遺症が残らなかったことが唯一の救いでしたが、事前にチェックして危険だと伝えておけば防げた事故なので、責任を感じました。自由と束縛のバランス、「子どももきっと分かるだろう」という安易な予断の危険、そして今回のケースでは特に、事前の安全チェックの徹底を改めて強く感じました。「安全第一で内容は二の次」とは言えないけれど、それとは別の問題・基本として、「事前の安全チェックを徹底的にすること」は、受け入れる側の最低限の義務だということを、しっかり胸に叩き込んで確認しました。自由と束縛(けじめ)、安全をどう保っていくかは、これからもずっとずっと続く大きな課題として、今回のキャンプを活かしていかなければと思います。まずは当面の3月のキャンプに向けて、じっくり着実に準備を進めます。

ケガをさせてしまった子どもには本当に申し訳ないことをしましたが、全体としては、子ども達はのびのびと活動し、普段の生活では体験できないこと・決して感じるできない大切なものを持ち帰ってもらえました。子ども達、そしてリーダー達にも「良い物」を残せました。そして今回は、9月の連休中に「想い出会」として、保護者の方も交えて2泊3日のキャンプを行ない、11日間のキャンプを確かなものにするために振り返ることもできました。

2回3回と回を重ねるごとに反省点や改善点を発見し、さらに良いものへと発展していく…。これ

からも続けていきたいです。続けることで分かることがたくさんあって、続けることで残ることもたくさん、、、。続けることが、本当に大切なんだと強く感じるこの頃です。みなさんぜひ遊び兼応援に来てくださいね。

3月25日(火)～30日(日)までの5泊6日で、お味噌を作る(麹も作ります)キャンプを行います。知り合いの方などにぜひお勧めください。

自然の中で自分の足で生きていけば、いろ～んな出来事があるし、いろ～んなことを考えもするのですが、時間が経つとどうでもいように思えたりして…。2年ぶりに実家に帰ったり、沖縄に4日間旅行へ行ったりもしましたが…。土台半年分をまとめて言おうとするのに無理があって、五島でこんなことやってる小野敬という若者(バカモノ)がいるというのを忘れられないために書くのだと割り切ることにして、みなさんもそのつもりで読んでください。言わずもがな、ですね。

もう一つ。3回目となった「田んぼのこと」を。

「3回目となりゃササガにできだろ～。3度目の正直という言葉もあるし。」…という声が聞こえてきそうですが(事実言われましたが)、驚くなかれアキレルなかれ、今年も失敗でした。前回までのスズメに食われるという失態から、さすかの僕も学習して、今回は収穫の1ヶ月前にスズメ除けの網を張ることにしました。でも収量は籾を入れても1キロ弱という惨憺たる結果に…。今回の原因は「水」でした。

7月末、いつものように田んぼの様子を見に行ったところ、注がれているはずの水が止まっている…。川から引いているパイプ管をチェックしても異常はなく、水源そのものが枯れていることが分かりました。「どうして突然!？」と原因を考えましたが、これはという確証も得られず、キャンプ前の忙しい時でもあってそれ以上どうすることもできませんでした。土は常に湿っていましたが、いざ収穫の時期になってみたらやはりほとんど実が入っておらず、栄養不足か酸素不足か、肥料もやって耕して雑草抜いて網まで苦労して張ったのに、さすがに悔しくて泣きました。こういう時田舎は回りに誰もいなくていいなあ、なんて我ながら妙なことを考えながら…。書いててまた途方に暮れそうになるので水枯れの原因を考えてみると、近くで温泉を掘ったことや道路工事の影響などで水脈が切れたか流れが変わったか、もしくは山に誰も入らないことから山が荒れて、保水力が減ってきたからか…。とにかく今年はどこからか水を引っ張ってくるより仕方ないのですが、現在は新しい田んぼを「開墾」しつつ、水源の調査をしています。

そう、懲りずに開墾しているのは、今までの田んぼの上下にあたる2枚。懲りずに嬉しい話ですが、今年から今までと同じ広さの田んぼを新しく2枚借りれることになりました。も一つ懲りずに、スズメ除けの網を全部に張るとなると大変な作業なので、今年は網を全面には張らず、まずはスズメ除けの蛍光テープを張り巡らすだけにして様子を見ようと思っています。鳥害も田んぼが狭いから全滅されたわけで、広くなればスズメさん達も食べきれない。と言っても、3枚合わせたところで0.5反にも満たない広さなので、依然全滅の危機は残りそうですが。スズメのことだけを考えると、隣りのお百姓さん(と言っても一人だけ。でも田んぼは広い)と一緒に時期に収穫する早稲を植えればいいのですが、水の多い梅雨時に苗を植え、水の少ない秋に収穫するという自然のリズムに合わせた稲作(晩稲)をしたいので、もう一年これで様子を見てみるつもりです。

乞うご期待、とはもう書きません。とにかくがんばってみます。

【 2003年は... 】

塩を焚いていて一番いいなあと思う時は、燃え上がる炎を見ている時です。「この世で一番美しいものは火だ」と、僕はキャンプで子ども達に必ず言うのですが、色といい匂いといい、じんわり沁み入るような暖かさといい、これは「生きた火」でなければ味わえない安らぎ・楽しみです。生きた火があるだけで、子どもたちも楽しんでいます。カマドで焼きイモを焼いたり、消し炭でサンマやイカを焼いたり掘りごたつで温まったり、火のある暮らしはほんのりじんわり暖かくて、とてもいいものですよ。冬の楽しみです。再生資源の木による熱はエコロジーであることを想えば、気分もいいです。これは自慢してしまう。でもやっぱり、人のある暮らしには、かなわないんだらうなあ。

早いものでもう2月。遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。皆様よいお正月を迎えられましたでしょうか。我が家は実家から母親が、はじめて五島でお正月を過ごしにやって来て、とにかく賑やかな毎日でした。年末から18日間連続で誰かと飲んでいた僕は、身長175cm体重75キロとかつてない目方を記録して現在ダイエット中。今年の目標はとにかく、飲みすぎ注意、です。

今年のマジメな目標は、昨年ようやく軌道に乗った塩作りの現状維持と、今年3年目になる「しまキャンプ」をいろんな意味で軌道に乗せること。それからやっぱり「畑と田んぼ」です。作るたびに飼っているニワトリとヤギに食い荒らされる我が畑を今年こそしっかり整備して、「計画的な収穫」ができるようにしないと...。それと通信もしっかり書きたい...。その他にも大きな目標はありますがまだ秘密で、自分なりのペース、「現状維持で前に進む」を目標に、今年もどうぞよろしく願いいたします。皆様にとってよい一年になりますように。

「塩」 売ります！

下記の連絡先に電話・ファックス・ハガキ・メール等で、名前・住所・電話番号・必要グラム数をお知らせください。

塩	100g	200円	/	500g	1000円	/	1Kg	1800円
無選別・粗塩	1Kg	1200円		(結晶が粗く、木材のススなどのゴミが微量に混入する怖れがあります)				
にがり粉末	1Kg	500円	/	にがり原液	1ℓ	200円	(すべて税込み)	

5000円以上お買い上げの方は送料無料(その他は購入者負担)です。

平均的4人家族の塩の年間使用料は約2.5Kgです。

海のミネラルを豊富に含む「天然にがり」は、マスコミをはじめさまざまな分野で注目・取り扱われています。あらゆる皮膚病や美容のための入浴剤として、またはアレルギー体質改善のための服飲用としてお勧めです。ぜひ一度お試しください。

連絡先

〒857-4601 長崎県南松浦郡新魚目町小串郷大浦

TEL/FAX 0959-55-2707 メール:kurashi_en@hotmail.com

小野 敬